

# 平成28年度決算の概要



広島高速道路公社

Hiroshima Expressway Public Corporation

# 目次

---

◆ 会計処理の特徴 .....	1
◆ 償還準備金積立方式の仕組み .....	2
◆ 平成28年度決算の概要 .....	3
◆ 平成28年度損益計算書 .....	4
◆ 平成28年度貸借対照表 .....	5
◆ 借入金残高の推移 .....	6
◆ 通行台数・料金収入・供用延長の推移 .....	7
◆ 計画との比較 .....	8
◆ 平成28年度キャッシュフロー計算書 .....	9



# 会計処理の特徴

## 原則

- 当会社では、財政状態や経営成績を明らかにするため、企業会計原則に準じた会計処理（発生主義・複式簿記）を行っています。

## 特徴

- 広島高速道路の整備については、出資金・借入金で建設を行い、お客様から頂いた料金収入で借入金等を一定の期間内に返済していく、有料道路制度を活用しています。
- 有料道路制度においては、企業会計において一般的に採用されている減価償却費を計上する方式ではなく、将来の無料開放に備えるため、料金収入から管理費、利息等の費用を差し引いた額を償還準備金として積み立てる会計処理を採用することとされています。
- これにより、貸借対照表上で、資産の部に計上される「道路資産」と負債の部に計上される「償還準備金」とを対比することで、借入金の償還状況がわかりやすい仕組みになっています。



# 償還準備金積立方式の仕組み



## 平成28年度決算の概要

---

- ① **収益**の合計額は、13,010百万円で、そのうち88%が**道路料金収入**です。  
道路料金収入は、通行台数の増加及び料金収入単価の伸びにより、前年度から458百万円増加し、11,412百万円となりました。
- ② **費用**の合計額は、13,010百万円で、主な内訳は、料金収受などの管理費3,155百万円、支払利息等1,900百万円、広島県・広島市からの受託事業費1,328百万円及び償還準備金繰入5,983百万円となっています。
- ③ **償還準備金繰入(収支差)**は、前年度から417百万円増加となり、**償還準備金の残高**は、43,347百万円となりました。
- ④ 平成28年度末の借入金の未償還残高は前年度から21億円減少し、2,423億円となりました。



# 平成28年度損益計算書

(単位:百万円)

費用の部				
科目	金額			増減率 (%)
	平成28 事業年度	平成27 事業年度	差額	
事業資産管理費	3,231	3,089	142	4.6
道路管理費	3,155	3,011	144	4.8
ETCマイレージ還元負担金等	77	78	△1	△1.3
一般管理費	403	405	△2	△0.5
一般管理費	254	251	3	1.2
減価償却費等	149	154	△5	△3.2
業務外費用	1,900	2,007	△107	△5.3
借入金利息	1,870	1,975	△105	△5.3
債券発行費償却等	31	32	△1	△3.1
受託業務費	1,328	552	776	140.6
小計	6,863	6,053	810	13.4
引当金等繰入	6,147	5,612	535	9.5
償還準備金繰入	5,983	5,566	417	7.5
償還準備積立金繰入	164	46	118	256.5
合計	13,010	11,664	1,346	11.5

収益の部				
科目	金額			増減率 (%)
	平成28 事業年度	平成27 事業年度	差額	
業務収入	11,517	11,063	454	4.1
道路料金収入	11,412	10,954	458	4.2
ETCマイレージ還元負担金収入	41	42	△1	△2.4
業務雑収入	63	67	△4	△6.0
業務外収益	166	49	117	238.8
受託業務収入	1,328	552	776	140.6
合計	13,010	11,664	1,346	11.5

※ 係数毎に端数処理しているため、計において合致しないことがあります。  
 ※ 増減率は端数処理後の値で算出しています。



# 平成28年度貸借対照表

(単位:百万円)

勘定科目	資産			増減率 (%)
	金額			
	平成28 事業年度	平成27 事業年度	差額	
流動資産	6,251	5,403	848	15.7
現金・預金外	6,251	5,403	848	15.7
固定資産	373,258	369,456	3,802	1.0
事業資産	304,279	304,279	0	0.0
道路建設仮勘定	67,904	63,966	3,938	6.2
有形固定資産外	1,075	1,211	△136	△11.2
繰延資産	217	213	4	1.9
借入金取扱諸費外	217	213	4	1.9
資産合計	379,726	375,072	4,654	1.2

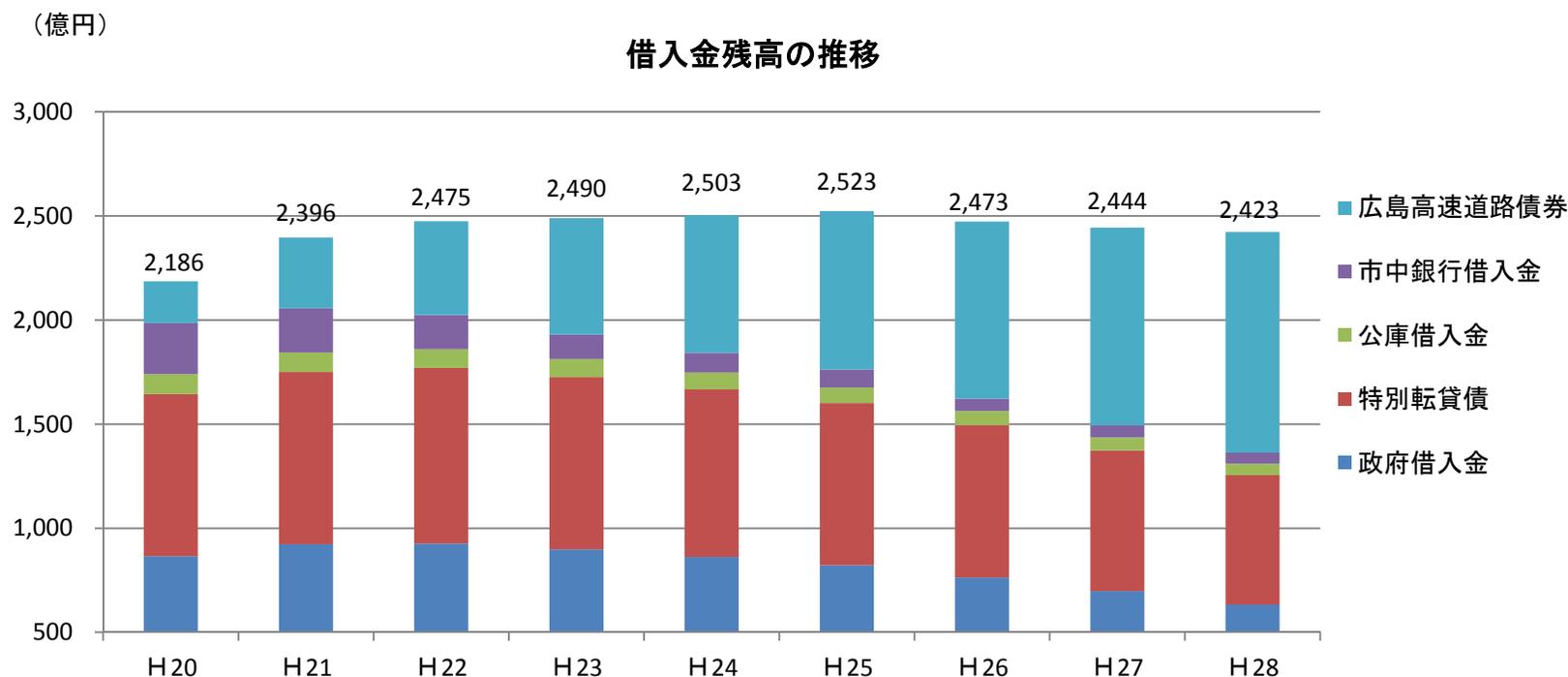
勘定科目	負債及び資本			増減率 (%)
	金額			
	平成28 事業年度	平成27 事業年度	差額	
流動負債	26,597	18,324	8,273	45.1
短期借入金外	26,597	18,324	8,273	45.1
固定負債	217,398	228,139	△10,741	△4.7
広島高速道路債券	96,000	94,998	1,002	1.1
地方公共団体借入金	55,603	61,183	△5,580	△9.1
政府借入金	56,760	61,968	△5,208	△8.4
市中銀行等借入金等	8,865	9,839	△974	△9.9
退職給与引当金	140	122	18	14.8
ETCマイレージ引当金	30	29	1	3.4
特別法上の引当金等	55,167	49,020	6,147	12.5
償還準備金	43,347	37,364	5,983	16.0
償還準備積立金	11,819	11,655	164	1.4
(負債合計)	299,162	295,483	3,679	1.2
基本金	80,430	79,455	975	1.2
地方公共団体出資金	80,430	79,455	975	1.2
剰余金	134	134	0	0
(資本合計)	80,564	79,589	975	1.2
負債・資本合計	379,726	375,072	4,654	1.2

※ 係数毎に端数処理しているため、計において合致しないことがあります。  
 ※ 増減率は端数処理後の値で算出しています。



# 借入金残高の推移

借入金残高の状況は、建設事業の財源及び借換資金として143億円を新規借り入れし(債券、政府借入金等)、償還準備金等を財源に元金償還した結果、平成28年度末の借入金の未償還残高は平成27年度に比べ21億円減少し、2,423億円となりました。



平成28年度末の借入金残高

前年度末	平成28年度借入額	計	償還	平成28年度末
2,444億円	143億円	2,587億円	164億円	2,423億円

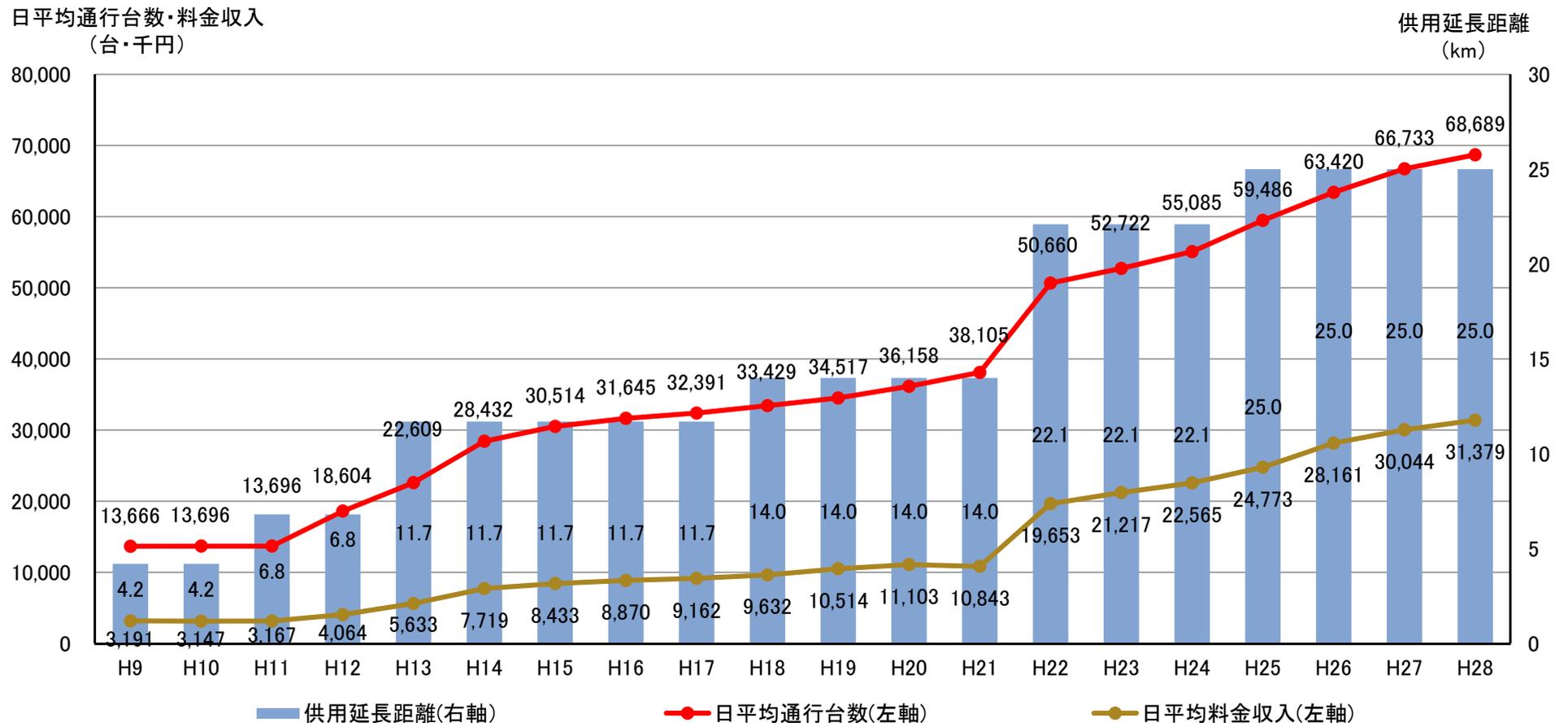


# 通行台数・料金収入・供用延長の推移

平成28年度

日平均通行台数 68,689台(2.9%増)、日平均料金収入 31,379千円(4.4%増)

■ 平成22年4月に広島高速2号線及び3号線Ⅱ期、平成26年3月に広島高速3号線Ⅲ期と、相次ぐ新規路線の供用開始後、通行台数・料金収入ともに増加。



# 計画との比較

## 【償還準備金繰入】

(単位:百万円)

区 分		収 益 (A)	費 用		償還準備金繰入 (A-B)	営業係数 (B/A*100)	
			(B)	管 理 費			借入利息等
平成28年度	計画	11,479	5,374	3,496	1,878	6,105	47
	実績	11,518	5,535	3,635	1,900	5,983	48
累 計	計画	100,013	56,686	33,518	23,168	43,327	57
	実績	100,240	56,892	33,691	23,201	43,348	57
計 画 に 対 す る 実 績 の 比 率		100.2	100.4	100.5	100.1	100.0	—

○計画は、整備計画(平成28年12月国土交通大臣許可)の数値です。

○管理費は、事業資産管理費、一般管理費の合計です。

○営業係数は、100円の収益を得るために必要な費用を意味し、平成28年度は昨年度から2ポイント改善しました。



# 平成28年度キャッシュフロー計算書

(単位:百万円)

	平成28年度	平成27年度	増減額		平成28年度	平成27年度	増減額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	A	B	A-B	II 投資活動によるキャッシュ・フロー	A	B	A-B
償還準備金繰入等	6,148	5,612	536	有価証券の取得による支出	▲ 2,700	▲ 1,800	▲ 900
減価償却費	130	130	0	有価証券の売却による収入	2,700	1,800	900
退職給与引当金繰入	19	24	▲ 5	事業資産の取得による支出	0	0	0
ETCマイレージ引当金繰入	1	1	0	事業資産の売却による収入	0	0	0
債券発行費等償却額	22	21	2	建設仮勘定の取得による支出	▲ 4,348	▲ 1,744	▲ 2,604
受取利息	0	▲ 1	1	固定資産の取得による支出	▲ 65	▲ 34	▲ 31
債券支払利息	855	845	10	固定資産の売却による収入	0	0	0
借入金支払利息	1,014	1,130	▲ 116	投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 4,413	▲ 1,778	▲ 2,635
未収金等増減額	▲ 440	▲ 45	▲ 395	III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
棚卸資産増減額	▲ 60	▲ 13	▲ 47	短期借入による収入	0	0	0
未払金増減額	43	▲ 513	557	短期借入の返済による支出	0	0	0
小計	7,732	7,191	542	長期借入による収入	2,890	2,425	465
受取利息	0	1	▲ 1	長期借入の返済による支出	▲ 16,417	▲ 15,398	▲ 1,019
債券支払利息	▲ 855	▲ 845	▲ 10	債券の発行による収入	11,000	10,000	1,000
借入金支払利息	▲ 1,014	▲ 1,130	116	債券の償還による支出	0	0	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,863	5,217	647	出資金の受入による収入	975	500	475
				財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,552	▲ 2,473	921
				IV 現金及び現金同等物の増加額	▲ 101	966	▲ 1,066
				V 現金及び現金同等物期首残高	3,538	2,573	966
				VI 現金及び現金同等物期末残高	3,437	3,539	▲ 101

